

宮崎県出身の画家、瑛九（本名：杉田秀夫）は、今年で生誕110年を迎えます。生涯を通じて独自の表現を求めた画業のほかにも、文筆活動や、美術団体の結成など、多方面で活躍しました。

瑛九が、画家を目指して絵を描き始めたのは、14歳の時です。16歳からは美術評論やエッセイなどを新聞、雑誌に投稿し、多数掲載されるなどしていました。また、生涯を通して家族や美術仲間、友人たちには数多くの書簡を送っています。それらの中で、瑛九は近況報告や技法のアドバイスなど日常的なやりとりだけではなく、人生や芸術に対する考えや、自身の悩みなど様々なことについて書き残しています。

ここでは、瑛九が多彩な画業のかたわら発し続けた折々の言葉とともに、試行錯誤を繰り返しながら制作した作品をご覧ください。

■展示作品リスト

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	技法
1	瑛九	1911～1960	秋の日曜日	1925(大正14)	23.7×32.9	油彩
2	瑛九	1911～1960	卓上の静物	1934-35(昭和9-10)	33.5×45.8	油彩
3	瑛九	1911～1960	タバコを吸う女	1935(昭和10)	32.4×23.7	油彩
4	瑛九	1911～1960	誕生	1940(昭和15)	45.5×53.1	油彩
5	瑛九	1911～1960	ギターを弾く少女	1943(昭和18)	90.0×71.5	油彩
6	瑛九	1911～1960	酒場	1944(昭和19)	25.6×29.6	油彩
7	瑛九	1911～1960	街	1947(昭和22)	116.8×91.5	油彩
8	瑛九	1911～1960	逆光	1948(昭和23)	45.1×38.0	油彩
9	瑛九	1911～1960	労働	1947-48(昭和22-23)	91.3×117.0	油彩
10	瑛九	1911～1960	花と家	1951(昭和26)	23.5×44.6	油彩
11	瑛九	1911～1960	作品	1951(昭和26)頃	45.6×38.0	油彩
12	瑛九	1911～1960	みづうみ	1957(昭和32)	91.3×116.3	油彩
13	瑛九	1911～1960	赤のあつまり	1958(昭和33)	40.7×32.2	油彩
14	瑛九	1911～1960	丸のあそび	1958(昭和33)	155.7×91.5	油彩
15	瑛九	1911～1960	つばさ	1959(昭和34)	259.0×181.8	油彩
16	瑛九	1911～1960	春	1951(昭和26)	12.1×9.0	エッチング
17	瑛九	1911～1960	童女	1951(昭和26)	14.3×7.4	エッチング
18	瑛九	1911～1960	少女(B)	1952(昭和27)	23.7×17.9	エッチング
19	瑛九	1911～1960	都会の正午	1953(昭和28)	23.1×18.1	エッチング
20	瑛九	1911～1960	過去	1953(昭和28)	16.1×26.9	エッチング
21	瑛九	1911～1960	楽士	1954(昭和29)	23.7×18.1	エッチング
22	瑛九	1911～1960	消えゆく風景	1957(昭和32)	40.2×26.3	リトグラフ
23	瑛九	1911～1960	迷路	1957(昭和32)	38.5×25.8	リトグラフ
24	瑛九	1911～1960	『瑛九デッサン集』	1946(昭和21)	23.6×26.6	水彩

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	技法
25	瑛九	1911～1960	ペンデッサンD	不明	28.1×23.6	素描
26	瑛九	1911～1960	題不明	1953(昭和28)	35.0×26.2	素描
27	瑛九	1911～1960	作品	1950(昭和25)	27.5×23.0	フォト・デッサン
28	瑛九	1911～1960	器	1936(昭和11)	27.1×21.0	フォト・デッサン
29	瑛九	1911～1960	あたま	1950(昭和25)	29.4×23.7	フォト・デッサン
30	瑛九	1911～1960	窓	1951(昭和26)	21.7×20.0	フォト・デッサン
31	瑛九	1911～1960	タベ	1952(昭和27)	43.9×53.5	フォト・デッサン
32	瑛九	1911～1960	春	1954(昭和29)	53.2×42.4	フォト・デッサン